

京 図

きょうと



京都市図書館情報誌

関西から

文化力
POWER OF
CULTURE

本で広がる世界 本でふくらむ夢

平成28年2月発行

ものがたり



〈特集〉

0歳からの 図書館

いっしょに
読むと
もっとたのしい



〈中央図書館(中京区)〉

目次

- 2 3 特集 0歳からの図書館
- 4 連載 ご存じですか? 使って便利な京都市図書館
- 5 連載 図書館の本棚から司書がすすめるこの1冊
- 6 図書館の特色紹介 西京図書館
- 7 図書館小特集 レファレンスこぼれ話
- 8 利用者の声 おもしろかった本

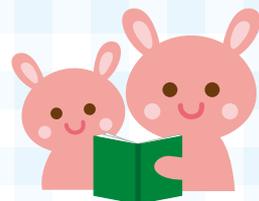
あなたの好奇心に応える

vol.40

0歳からの図書館

いっしょに読むととってもたのしい!

京都市図書館は、子どもが本に親しめる環境づくりに長年取り組んできました。赤ちゃんや保護者の方に活用していただける本を幅広く収集し、それらを用いた読み聞かせなどの行事においても、各図書館が様々な工夫を凝らしています。今回の特集では、地域に密着した様々な取り組みを紹介し、0歳から利用できる京都市図書館を知っていただきたいと思います。



◎図書館カードは0歳から作れます

お近くの図書館で申し込んでください。カードの使い方は大人と変わりありません。赤ちゃんを連れて行くのは早いかと思われる場合は、同居の家族の方が代理で申し込むことができます。(赤ちゃんのお名前と住所がわかる保険証などをお持ちください。)詳しくは各図書館にお問い合わせください。

◎赤ちゃん向けの絵本がたくさんあります

図書館には絵本のコーナーがあって、靴を脱いでゆっくりとくつろぐことができます。赤ちゃんから楽しめる絵本もたくさんありますので、ぜひ、お立ち寄りください。



久我のもり図書館(伏見区)



吉祥院図書館(南区)



左京図書館(左京区)

◎赤ちゃんのための行事をしています

図書館では、絵本の読み聞かせのほか、ふれあい遊びなど、保護者の方と赤ちゃんが楽しめる行事を行っています。保育士さんやボランティアの方にご協力いただいたり、各図書館で色々工夫していますので、館内のポスターや京都市図書館ホームページ (<http://www2.kyotocitylib.jp/>) の行事カレンダーをチェックしてください。



南図書館(南区)
絵本の読み聞かせ



岩倉図書館(左京区)
手遊び
「おべんとうばこのうた」



西京図書館(西京区)
パネルシアター
「いないいないばあ」



北図書館(北区)
ボランティア「にじのこ文庫」さんによる
絵本の読み聞かせ

◎ほかにも、こんな取り組みをしています

・乳幼児保護者用読書ノート

京都市図書館では、乳幼児の保護者の方向けに読書ノートを無料配布しています。お子さんに初めて読んであげた本や、何度もくりかえし楽しんだ本など、お子さんの成長とともに読書の記録を書き込めるノートです。ぜひご利用ください。



・育児書コーナーを設置しています(醍醐中央、左京、岩倉、山科、南、久世ふれあいセンター、こどもみらい館子育て図書館)

離乳食や育児事典など、子育てに関する資料をまとめて、情報を探しやすくしています。



醍醐中央図書館(伏見区)

すくすくコーナー

本だけでなく、図書館以外の子育て関連のイベント情報のチラシも置いています。

山科図書館(山科区)

絵本コーナーの一角に、子育てに必要な情報をまとめて置いています。



・布絵本を楽しむことができます(中央図書館)

手作りの布絵本が絵本コーナーにあります。布の感触を味わいながら、歌って遊んだり、自由にお話を考えたり、それぞれに合った楽しみ方ができます。館内でゆっくりご覧ください。布絵本の手作り講座も開催し、毎回たくさんの方々にご参加いただいています。



講座の様子



布絵本

・おむつ替えシートを設置しています

全館でおむつ替えシートを設置し、右京中央図書館、吉祥院図書館、こどもみらい館に授乳室を設けています。

いっしょに読むと
もっとたのしい!

子ども読書の日記念事業(平成28年4月16日㊥~24日㊦)

京都市図書館では、毎年4月23日の「子ども読書の日」を中心とした期間に、子どもたちの読書活動を推進するためのさまざまな事業を行っています。

平成28年度は、赤ちゃんと一緒に楽しんでいただける行事をメインに企画! 赤ちゃんは本を読まない? 小さな子が泣くと周りに迷惑? そんなことはありません! 赤ちゃんと一緒に図書館を楽しんでください。

※記念事業の詳細は、図書館ホームページや各図書館等で配布のチラシをご覧ください。

ご存知ですか？

使って便利な京都市図書館

その3



京都市図書館では、平成12年2月に関係団体の皆様と『子どもの読書活動推進のための懇談会』を設け、子どもの読書を推進するための課題について協議してきました。

平成13年12月、「子どもの読書活動の推進に関する法律」が制定されたことを記念して、懇談会では平成14年4月から子どものためのブックリストを作成しています。

また、絶版や品切れで入手できない作品の見直しや、新たに出版された本の中から載せたいものがないかなど、京都市図書館全館からも意見を集め、定期的にリストの見直しをしています。



〈ブックリスト「本のもり」〉

“赤ちゃん編” “幼児編”
“小学校低学年編” “小学校中学年編” “小学校高学年編”
“中学校編” の6種類あります。

子どもたちに読んでもらいたい本を各年代別に30冊選びました。読みやすい本、読み応えのある本など取りまぜていますので、「どんな本を読めばよいのか分からない」という方にも是非おすすめです。京都市図書館では、ブックリスト「本のもり」とそこで紹介した本を揃えています。(こどもみらい館子育て図書館は“赤ちゃん編”、“幼児編”の本のみ)
「本のもり」が子どもたちにとって本を読むきっかけになれば幸いです。



中央図書館



醍醐中央図書館



伏見中央図書館

〈子どもの読書活動推進のための懇談会の参加団体〉

- ・京都市PTA連絡協議会
- ・京都市子ども文庫連絡会
- ・京都市小学校図書館研究会
- ・京都市立中学校教育研究会図書館教育部会
- ・京都市私立幼稚園協会
- ・京都市保育園連盟
- ・京都府書店商業組合
- ・京都市図書館
- ・京都市教育委員会

図書館の本棚から

司書がすすめる

この1冊

『星三百六十五夜』



野尻抱影／著
中央公論新社刊

わたしたちがまだ「人工の星」を持っていなかったころ。
それでも、遠い星からの光はいつもわたしたちとともにあった。
『星の魔術師』とそのゆくたてをひもと継ぐ。

2015年7月、アメリカの探査機ニューホライズンズが接近・撮影したかつての太陽系9番目の惑星・冥王星*の和名命名者としても知られる野尻抱影のじりほうえい。

今も版を重ねている子ども向けの『星と伝説』でご存じの方もありません。

明治の中頃横浜に生まれ、L・ハーン、島村抱月しまむらほうげつらに英文学・演劇を学び、ホメロスやギリシャ神話から星の世界への探求を深めた抱影は、大正時代ごろすでに雑誌の天文欄の筆者として、またラジオでの講義を通じて全国の天文愛好者たちと交流し、直接・間接の多くの「星の弟子」を持っていました。

後に東京天文台（現在の国立天文台）台長になった広瀬秀雄は抱影の本を「星の言葉を聞くための魔術書、呪文集とでもいうようなものを読むような気持で、一心に読み入った事を今もはっきり覚えています。」と回想しています。

その「星の魔術師」も敗戦、家族を喪ったショックから一時執筆意欲を失いますが、弟子たちに励まされ、支えられつつ書き始められたのがこの本です。

ある日には王朝文学に現れた星空の美しさを、ある日には執筆当時まだ黎明期れいめいきにあった日本の電波天文学の成果をと、神話伝説から科学・文学・民俗学に至るまで、365夜のかか頁にも星々と人の営みとの係わりの深さと親しさを描き出して已むことはありません。

美味しそうな色合いから天文関係者たちに様々な食べ物たどに喩えられた冥王星。抱影ならどう見立てたでしょうか？（U）

*脚注

2006年、国際天文学連合の総会において、準惑星に分類されました。

西京図書館

西京図書館
西京区山田大吉見町20-3
電話 392-5558



西京図書館は、レンガ造り風の建物で、ガラス窓に囲まれた明るいブラウジングルームがあります。2階は、ロジック風のデザインになっています。隣には、児童公園があり、こどもたちの元気な声が聞えます。たくさんの方々を支えられ、昨年、西京図書館は開館30周年を迎えることができました。最近は特に地域との連携に力を入れ、ボランティアの方々や地元の施設のご協力を得て、皆様にとってより身近な図書館を目指しています。

地域との連携

● ボランティア

- ・絵本の読み聞かせや英語の行事など、様々な行事をしていただいています。それぞれに趣向を凝らした内容で、来館者に好評です。
- ・8人の図書館ボランティアさんに、返却された本を本棚に戻す活動をしていただいています。



〈「榎原小学校図書サポーター木いちごの会」によるクリスマスおたのしみ会〉

● 区役所・消防署

- ・西京区役所の西京区民まつりに協力しました。
- ・西京消防署の署員さんが、防災をテーマに読み聞かせやDVD上映をしてくださいました。



〈消防おたのしみ会〉



西京図書館の取組

● 30周年記念事業

- ・「30周年記念写真展」
開館前の工事の様子から現在までの記録を展示しました。
- ・「絵本のおたのしみパック」
大人の方向けに絵本を2冊ずつ包装して貸出しました。中身は開けてからのお楽しみということ、普段とは違うワクワク感があつたようで、好評でした。



〈30周年記念写真展〉

● 外国語絵本

2階の児童室には、世界の絵本のコーナーがあり、中国語・タイ・ギリシャ・オーストリア・ノルウェー・デンマーク・フランスなど、世界各国のさまざまな言語の絵本が並びます。



学校との連携

● 小学校

- ・職員が近隣の小学校に出向いて、ブックトーク（テーマに沿った本の紹介）や絵本の読み聞かせなどを行い、読書の楽しさを伝えています。



〈ブックトークの様子〉



- ・「めざせ100冊!読書マラソン」で100冊読破を達成した小学生には、西京図書館オリジナルのしおりをお渡ししています。

● 中学校

- ・毎年、中学校から生徒さんが職業体験に来て、本の返却や書架整理、紙芝居、おすすめ本の紹介などを行います。
- ・社会や国語、数学等で、調べ学習に使用する資料の貸出を行っています。生徒の調べる力を育てる授業のお手伝いです。

レファレンス こぼれ話



～あなたの知りたいにおこたえます!～

レファレンスとは、みなさんからの質問・相談を受けて調べものに必要な資料を探すお手伝いをする事です。このコーナーでは、京都市図書館の調べものを担当する右京中央図書館の司書がレファレンスについてのエピソードを紹介します。

各図書館のカウンター窓口・電話・郵便、京都に関することならホームページ経由でも受け付けていますので、お気軽にレファレンスサービスをご利用ください。

小学生のお客さま

ある日曜日の午後一番に、小学校高学年くらいの男の子がレファレンスデスクへやって来ました。

「エレベーターのしくみについて、載っている本はありますか?」とのこと。自分でまとめて学校で発表するのだそうです。

早速、エレベーターについての本を小学生にも分かりやすく、今日借りて帰れるように右京中央図書館が持っている児童書を探します。すぐに『エレベーター・エスカレーターのひみつ』というぴったりのタイトルの本が見つかりました。でも、残念ながらこの本は貸出中。他には、『発明大図鑑』という本も見つかりました。こちらは本棚にありそうです。

しかし、調べてまとめるためには1冊では足りません。

(エレベーターのしくみってどんな本に載っているかな…)と考えなが

ら、次は機械のしくみについての本を探します。

今度は、『道具と機械の本』『しくみが見える図鑑』などが見つかりました。(さて、これらの本に載っているかどうか…)不安と期待を胸に、一緒に児童書の本棚に見に行ってみることにしました。

実際に本を見てみると、最初に紹介した『発明大図鑑』には、“エレベーターの安全装置のしくみ”については詳しく載っていましたが“エレベーターのしくみ”については少しだけ…。他の本も見てみると『道具と機械の本』『しくみが見える図鑑』にエレベーターのしくみが、図入りで分かりやすく載っていました!特に『しくみが見える図鑑』には、「下りエレベーターで体が浮くように感じるわけ」も載っていて、男の子は興味を持ったようです。

「これで、まとめられそう。もう少し、他の本も見てみる」と言う男の子に、(本が見つかってよかった。これをきっかけに、もっと図書館を好きになってくれたら嬉しいな。)という温かい気持ちになったご質問でした。



(参考資料)

- ・『しくみが見える図鑑』
小峯 龍男 富田 京一/監修 成美堂出版
- ・『エレベーター・エスカレーターのひみつ』
おぎの ひとし/漫画
学研コミュニケーションビジネス事業部教材資料制作室
- ・『道具と機械の本』
デビッド・マコーレイ/(著) 歌崎 秀史/訳
岩波書店

